

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム清水の里

作成日: 令和 元年 7月 24日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議がホームの現状や行事などの報告が中心となっているので、会議の内容や取り組みを検討し、ホームの繁栄だけでなく、参加者にとっても知識や情報を習得できる有意義な会議にしていく。	会議のメンバーが固定し、内容が画一化傾向にあるので、新しい参加者を他グループホーム職員や薬剤師、公民館長など有識者や知見者に参加を要請し、ホーム繁栄だけでなく、会議が地域福祉に貢献できるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	避難訓練を年2回実施しているが、夜勤者が夜間1人で2階の9名の利用者を短時間で救出する事の難しさを実感している。マニュアルの見直しを行い避難訓練を繰り返し行うことで、夜勤者の自信につなげていく。	夜勤者を中心に夜間想定 of 避難訓練を何度も繰り返し、夜勤者が避難誘導を体で覚えて、いざという時に対応できる体制を整えておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。